

教科別 授業創造プラン（調査結果の傾向の分析と日頃の授業に基づく対策）
 （ 日野市立平山中学校 美術 ） 実技教科

今までの授業

- ① 知識・技能について
- 導入の部分で題材に関する知識学習を取り入れてから制作に取り組んでいる。技能面においては、個別指導をしていくことによって、平均的に技能を身に付けることはできている。
- ② 思考・判断・表現について
- 参考作品や生徒の作品、有名な作家の作品などから作品の工夫や良さを感じさせることはできた。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度について
- どの学年も課題に対して意欲的に取り組み、授業態度も落ち着いている。

課題

- ① 知識・技能について
- 知識が十分に理解定着できない生徒がみられる。技能においては、深め、高めるところについては個人差がある。
- ② 思考・判断・表現について
- 発想の工夫ができない生徒が多い。そのため、資料の活用方法なども取り入れているが、いろいろな物を見たり、体験したことが自己の発想につながらない。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度について
- 全体的に見通しをもって制作することが苦手である。そのため、補習授業で対応したが、不十分に終わってしまいました生徒もいた。

授業改善の具体的な方策

第1学年

【授業を改善すること】

- 基礎的な知識や技能を身につけさせた上で、発展的な課題を行い、制作する中で自己の力を引き出す指導の工夫を行う。
- 美術への興味関心が高まる教材の選定と指導の工夫を行う。
- 生徒の発想を否定せず、認めることにより自信をもたせる。
- 道具の準備や片付けなど責任をもって行わせる。
- 作品の完成に伴い、達成感と自信をもたせるとともに創る喜びを味わせる。

第2学年

【授業を改善すること】

- 一人ひとりへの声掛けを大切にしている造る楽しさを味わわせながら助言を行い、丁寧な指導を心がける。
- 技能の向上を目指す教材と指導の工夫を行う。
- 自主的な取り組みを引き出していく指導や評価を行う。
- 教材にあった表現活動を意欲的に行わせる。
- 予定時間内に制作が終わるように計画的に活動ができるように働きかける。
- 興味関心のもてる学習内容を工夫し、わかりやすい資料の作成を行う。

第3学年

【授業を改善すること】

- 一人ひとりへの声掛けを大切にしている造る楽しさを味わわせながら助言を行い、丁寧な指導を心がける。
- 積み上げてきた成果を発揮させる教材の設定を行い、達成感を味わわせる。
- 自主的な取り組みや、意欲的な取り組みを指導、評価する。
- 作品制作へのこだわりや工夫を重要視させ、思い出の残る作品を制作させる。
- 参考作品や生徒作品、有名な作家の作品などから関心を高め意欲をもって制作に取り組ませる。
- 限られた時間の中で見通しをもって制作させ、どうしても授業時間が足りない生徒には、補習で対応し全員完成に導く。

